

項目		ご意見・ご質問	事務局・検討委員会の考え方等
1	(1) 小学校再編の考え方	① あやめ野小の児童数が当面は減らない見込みであることを考えると、閉校となるのはもったいないと思うが、きれいな校舎でクラス替えを通じて様々な人間関係を築けることは良いことだと思う。 ② 小規模校では、教員の目がよく行き届くといったメリットがあるが、トラブルがあった時のために、クラス替えができることや対応できる教員が複数いるような学校規模の方がいい。 ③ 1学級しかない、転校生が来る以外は6年間新しく友達を作る機会がないことが小規模校のデメリットなのではないか。 ④ 月寒東小に窮屈な思いをさせてまで統合しなければならないのか。発想を変えて学校同士の連携でカバーできないか。 ⑤ 統合するという方向に向かって議論してきたが、保護者からネガティブな反応は少ないという印象。 ⑥ 学校規模の大小によるメリット・デメリット色々あるが、どちらがいいとはつきり言い切れないものであり、確実な正解があるような話ではない。 ⑦ 先生たちのチャレンジ精神を委員の我々も念頭において、この議論をもう少し前進させていかなければと思った。 ⑧ 全市的に児童が減っているというのをそのまま月寒地区に当てはめて考えてもいいものなのか。この地域の人口動態を見ながら、2～3年進めるのを待って、状況が見えた時点でまた進めるというやり方にできないか。 ⑨ 小規模校よりは通常の規模の学校に通わせたい。 ⑩ 1学年1クラスよりは2クラス以上の方が良好な人間関係を保つことができるのではないと思う。 ⑪ 月寒地区で新しいマンション建設計画もあり、今後児童数が増えていく可能性もある。統合ではなく通学区域の再編の方が課題の解決につながるのではないか。 ⑫ 小規模学校の時は6年間クラス替えがなく、中学校への進学について非常に不安だった。取組案のように再編されれば、出会いが増えたり学校での活動が多様化できたりするのでメリットが多いと感じた。 ⑬ 小規模校の課題は、月寒小・月寒東小・あやめ野小の3校で交流するなどの方法でカバーできるのではないか。	○教育委員会では、学年が進む中でクラス替えを行ったり、子どもたちがお互いに切磋琢磨し、社会性や協調性を育むためには、1学年に複数学級があることが望ましいと考えています。 ○通学区域を見直して一時的に小規模校の児童数が増えたとしても、将来的には再び同じ検討が必要となります。 ○月寒地区においても、短期的に児童の数が増えることはあっても、長期的には少子化が進むことが見込まれ、規模適正化の取組は必要と考えております。
	(2) 小学校再編の実施方法	① あやめ野小の児童が今後増える予想ならば、あやめ野小の方に統合した上で複合化の方がいいのではないか。 ② 児童の一部があやめ野小から月寒小に通うという案になっているが、学年で見た場合数名程度となる。その数名があやめ野小児童と離れる形で区割りしていいのかわかるか今一度検討してもらいたい。 ③ 統合が必要だとしても、南月寒小や羊丘小も巻き込んだものにすべきではないか ④ あやめ野小が開校された経緯を考えると、羊丘小の名前が出てこないことに疑問	○校区の再編方法については、児童全体の通学距離や通学安全の観点から踏まえ、検討委員会にて検討します。 ○あやめ野小は月寒東小、羊丘小の2校から分離新設された経緯はありますが、通学距離等を勘案すると、羊丘小も含めた再編は却って負担が大きくなると考えます。
	(3) 複合施設について	① 月寒児童会館は老朽化しているので、月寒小と複合化することについては、月寒地区の皆さんは喜ぶと思う。 ② 月寒小に児童会館が複合化される案は、保護者にとっては前向きにとらえられる。 ③ 月寒小にまちづくりセンターが複合化されると、学校周りに一般の人の出入りが増え、安心感がなくなる。	○札幌市では、小学校の改築の際には、まちづくりセンターや児童会館等の複合化を検討する方針です。 ○複合化した各施設の入口や管理は原則、分かれており、図書室など一部のスペースは共用を想定していますが、その場合でも共用スペース以外には入らないよう、区別して利用することになります。 ○学校に、まちづくりセンターや地域コミュニティ施設が併設されていることで、地域と学校の交流がしやすくなることを期待できます。

項目		ご意見・ご質問	事務局・検討委員会の考え方等
2	通学区域について	① あやめ野小学校の児童の分布状況がわかれば、校区の割り方も見えてくるのではないかと。	○統合に伴う校区の変更・指定変更区域設定・指定変更区域の設定時期については、頂いた意見を参考に、検討委員会内で検討いたします。
		② 校区の再編は、あやめ野小学校とみのり保育園の間を通っている二条線で区切るとすっきりする。	
		③ あやめ野小学校校区の西端(つきさつ中央公園付近)からあやめ野中学校までの距離が長いので、この近辺は月寒小学校の校区に再編し、中学校も月寒中学校に進学できるような校区にした方が通学しやすいのではないかと。	
		④ 一定期間、通いたい学校を選択できるようにできれば、進学状況により、どこで校区を振り分けられるかが見えてくるのではないかと。	
		⑤ 指定変更区域を設定すると、学校側としては次年度何人来るのかわからず困ってしまう。	
		⑥ 今の取組案だと、多くの児童が月寒東小へ行くことが予想されるが、この地区は空き地もあり、開発の余地がある。将来の人口動向も踏まえて校区を考える必要がある。	
		⑦ 校区は一度決めてしまうと、後で微調整をするような変更は難しいのか。	
		⑧ 仮にあやめ野小から羊丘小に振り分けられた児童が小学校を卒業する時に、数名だけあやめ野中に行くことになるのはかわいそう。学校を選べるようにしたいのではないかと。	
		⑨ あやめ野小から月寒小もしくは月寒東小へ振り分けることを考える際に、校舎の収容可能キャパをまずは考えるべき。	
		⑩ 小学校の学区だけではなく、中学校の学区も併せて検討してほしい。	
		⑪ 統合が決まるのであれば、入学から卒業まで同じ学校に通えるよう、入学時点で統合先の小学校を選べるようにしてほしい。	
3	通学安全について	① 月寒小周辺に中道が多くあることや、国道36号線を渡ることが不安。	○通学の安全について、頂いた意見を参考に意見書提出後も引き続き検討していきます。
		② 北野通と白石藻岩線の交差点は交通量が多く、斜め交差点となっており、平岸方向から北野通りに右折する車の速度が速く危険。月寒東小学校に直接接続する歩道橋(または地下道)の設置を検討してほしい。	
		③ 月寒小周辺には狭い道路やスクールゾーンがあるので、交通安全に不安がある。	
		④ 通学路の安全確保について、危ないところがあるならば、安全に通れるように検討していけばいい。	
4	(3) 新しい学校づくりについて	① 東側に増築棟ができると来客用駐車スペースが無くなりアクセスがしづらくなるのでは。	○新しい学校づくりについては、頂いた意見を基に関係機関とも協議しながら、意見書提出後に組織する改築検討協議会の場で具体的に検討することとなります。
	(4) あやめ野小学校の跡活用について	① あやめ野小学校跡地にあやめ野中学校を移転してはどうか。 ② あやめ野小学校はもと「菖蒲園」であり、月寒地区はフラワーガーデンの類がないため、「菖蒲園」や「バラ園」など憩いの場にしてほしい。マンション建設は避けてほしい。	○跡活用については、頂いた意見を基に関係機関とも協議しながら、意見書提出後に具体的に検討することとなります。